



防災 NEWS

2022年1月20日号

和合町自主防災隊

災害から身を守るためには 自助、共助、公助の3つの助がうまく連携することが重要です。

自助（自分の身は自分で守る）が一番大切ということは誰でも分かっています。公助（災害関係機関の取り組み）によって私たちの安全は守られています。しかし、大きな災害が起こり、全ての人々が被災者になった時は、共助（自分達の地域を自分達でまもる）がとても重要だ、ということは、過去に起こったいくつもの災害において明らかになっています。

和合町では和合町自主防災隊を組織し、共助によって町民を守ろうということに取り組んでいます。毎年、防災計画書を作成し、組織編成や、任務の分担を確認し、いざという時にスムーズに行動できるような備えをおこなっています。

この組織は、自治会長を隊長とし、隊員は自治会の会員で組織されています。隊員の任期は2年。来年度はこの改選の年となります。現在、各班長さんが次期防災班員（情報班員、消火班員、避難誘導班員、救護班員、物資班員）の選出に奔走してくださっています。

防災班員はどんなことをするのか？という疑問？？

基本的には、自治会の各部の部長さん、組長さんがリーダーとなり、更に各部の防災班員さんと協力しながら、自分の地域で活動して頂くのが任務となります。

但し、これは災害が発生した時のこと。（この組織化がいざという時に大きな力を発揮します。）また、防災訓練などの備えの場面での任務もあります。

自治会ホームページ(<https://www.wagoj.org/>) → 防災情報 → 災害に備えて → 令和3年度防災計画書または令和3年度防災訓練実施計画書 に詳しい活動内容が載っています。

（これらの計画書は、各部長さん、組長さん、前任の防災班員さんも持っていますので、お問い合わせください）

自治会ホームページ → 防災情報 → 防災ニュース → 12月15日のスライドショー

では、防災訓練の様子をご覧ください。

任期は2年、持ち回りでの改選という班が多いようですが、新しく防災班員を引き受けて下さる皆さんには防災意識、そして、共助の大切さを実感して頂ければと思います。

みんなで、助け合い、自分達の地域は自分達で守るために、皆様の力をお貸しください。

いざという時、自然にみんなで助け合える地域になれるよう、「防災」をキーワードに、そんな和合町になればいいなと思っています。

